

いきいき高齢者施設 探訪記 アズハイム光が丘

自分の家らしく
もつひとつのわが家を提供する
アズハイム光が丘。
笑顔と元気
そしてフレッシュな心を大切に
入居者の日々をサポートする
若手ケアスタッフ
服部なつみさんにお話を伺いました。



写真1 服部 なつみさん

アズハイム光が丘について ご紹介下さい

本館は、緑豊かな大型公園や総合病院なども点在する、生活利便の整ったエリアにある、介護付有料老人ホームです。

平成18年5月の開設で、居室数は全83室、定員は89名です。

また職員は、ホーム長をはじめとしてケアスタッフ45名、総数65名の体制となっています。

地域に根ざしたホームとして、近隣の方々の入居を中心にほぼ満室の状況が続いています。

自分の「家」にこだわる 空間の構築

アズハイム共通の理念において、できるだけ自分の家らしくする工夫がホーム全体に施されています。

例えばカーベットの材質や照明の照度など、プライベートの空間はもちろんですが、ご家族・友人との団らんや食堂なども、健やかで自然な暮らしのための住空間を構築しています。

これはいわゆる「施設での暮らし」ではなく、あくまで「我が家」で過ごすようなやすらぎと快適さを求める中で創りだされてきたことなのです。

●認知症ケアにも力を入れて

超高齢化社会が進む中で、認知症の方の数も増え続けています。

私も本館の中で、認知症の方が入居されているフロアの担当をしています。

症状の違いやそれぞれの個性も当然異なりますが、一人ひとりに寄り添い、個別的なケアを行うことで、その人らしい生活ができるよう、スタッフ一同取り組んでいます。

●明るい声につつまれる中で

認知症の方は、たとえ軽度の方であっても人の名前を覚えることができない方は少なくありません。

●日々の仕事から生まれるよろこび

この仕事に就いて本当に良かったなと思っています。
小さな事になりますが、先程お話しさせて頂いた、認知症を患う方から笑顔で名前を呼んでもらえた時、レクリエーションとしてのゲームを考える時、そしてそのゲームで楽しんでもらえた時など、日々の仕事を通じてたくさんこのよきこびがあるのです。

スタッフ同士もみんな仲良しですので、入居者と一緒にお話しできる時なども、私にとってはとても楽しい時間です。

信頼しあえる仲間とともに

本館にはケアスタッフだけで45名おり、年齢も18才から70才を超える方まで幅広く在籍します。けれどもスタッフ間の年齢的な隔たりはなく、和やかな雰囲気職場であることは、自慢できることの一つだと思います。

また、常にお互いをフォローし、若手スタッフにはアドバイスを惜しまないといった環境は、まさに入居者を第一に見据えた施設であ



写真2 レクリエーションでの1コマ

けれども日々の生活の中で「なつちゃんと呼んで下さいね」と声を掛け続けることで、いつの間にか笑顔で名前を呼んで頂けるようにもなるのです。

アズハイムには、私たちケアスタッフの中に、認知症ケア指導管理士の有資格者も在籍しています。

そのような環境において、認知症への理解を深め、また多くのスタッフやご家族とも連携することで、入居者の心の安定を支え、そ

●さらなる飛躍に向けて

私自身、お陰様で多くのスタッフに助けられ、また入居者の方々にも囲まれ、充実した日々と経験を積むことができています。

これからも介護の仕事を続けて行く中で、できれば看護の知識を身に付けたり、デイサービスのスタッフとしての経験もしてみたいなと思っています。

アズハイムとして、資格取得といった職員のスキルアップにはさまざまなバックアップもあり、介護職としての幅を広げていくことができると考えています。

本日はありがとうございました
(取材・編集部)

アズハイム光が丘
「介護付きホーム（介護付有料老人ホーム）」
〒177-0032
東京都練馬区谷原4-3-23
本社フリーダイヤル：0120-834-655
FAX：03-5501-1888
URL <http://www.as-helm.com/>
事業主体 株式会社アズパートナーズ

の方らしい生活ができるように努めています。
また夢をかなえるプロジェクトの一環として、やってみて！行ってみたい！という想いに応えられるよう、日帰り旅行や外食レクリエーション、外出イベント等々、メリハリのある暮らしにおいてプログラムを作り上げていきます。

高齢者をケアするよろこび

私はこの仕事に就いて5年目を迎えました。

高校生活の中で、高齢者施設を見学する機会があり、興味を持つたことが、この仕事に就く大きなきっかけでした。

もともと人と接することや、おしゃべりをするのが好きだったので、高3になった時に進路を決め、夏休みを利用してヘルパー2級（現介護職員初任者研修）の資格を取得しました。

友人たちからは、福祉の仕事は大変と言われたこともありましたが、迷いはありませんでした。しばらく前のことになりました



写真3 北村将高ホーム長（右端）とスタッフの方々（一部）

が、両親から福祉系の仕事に向いているのでは？と何気なく言われたこともあったのですが、それが現実になりました。
●いつもフレッシュな心で
この仕事を始めて数年が経たわけてですが、あらためて心掛けていくことは、初心を忘れず「という事です。
積み重ねる経験と合わせ、慣れや思い込みが生じ、自分でもヒヤッと感じることがあったのです。
入居者の生活をケア・サポートし、ご本人のみならずご家族の方をへも安心・安全をご提供していく上で、常に心掛けていなければならぬことだと感じています。